

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 心房細動患者における左房後壁隔離の成功率向上に寄与する要素を明らかにするための探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科（研究責任者）林田 啓
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2023年 3月 31日
＜研究の目的と意義＞ 心房細動に対するカテーテルアブレーションにおいて、左房後壁隔離は持続性心房細動の患者さんや発作性心房細動が再発した患者さんに対して広く行われている手法ですが、左房後壁隔離は難渋する場合も多く手技時間の延長の原因となります。しかしながら、どのような患者さんにおいて左房後壁隔離に難渋するのか、どのような手技上の問題点が左房後壁隔離難渋の原因となるのかは明らかではありません。本研究では、当院において心房細動に対して左房後壁隔離を施行された患者さんを対象に、過去の心臓 CT 画像、アブレーション時に使用する3D マッピング画像、カルテ内の情報等を用いて左房の壁の厚さや左房内の電気的特徴を解析し、左房後壁隔離に難渋する原因を探ることで成功率向上に寄与する要素を解明することを目的とします。
＜利用する試料・情報の項目＞ 診療記録・心臓 CT 画像データ・3D マッピング画像(アブレーション時に用いる)
＜対象となる患者さん＞ 西暦 2019年 8月 1日～西暦 2020年 2月 29日の期間に当院循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を行った方
＜研究の方法＞ 個々の患者さんにおいて、上記の過去の情報を用いて左房心筋の壁の厚さや、左房内の電気的特徴を収集し、左房後壁隔離を成功させる要素を統計学的に明らかにします。
＜研究組織＞ 川口市立医療センター 林田 啓

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科

氏名:永嶋 孝一

電話:03-3972-8111 内線:(医局) 2412 (PHS) 8142

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)